

カラオケ使用者連盟は、生涯学習の場としてのカラオケ施設利用の促進を行います。
 我々カラオケ店は、日本が世界に誇る「カラオケ文化」発信の担い手です。今直面している問題、解決すべき問題を皆で団結して考えましょう。

発行／カラオケ使用者連盟

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11

目黒西口マンション2号館503

TEL 03-3495-5695 FAX 03-3495-5694

全国より代議員が集まり 平成20年度通常総会を開催

平成20年度予算案など 満場一致で承認

去る5月21日（水）、東京都千代田区内の弘済会館にて、平成20年度通常総会が開催されました。

岩切常務理事の開会宣言後、鈴木理事長が挨拶に立ち、議事を進行。平成19年度事業報告、同収支決算報告、平成20年度事業計画案、同予算案といった4議案が審議され、全てが満場一致で



ご祝辞を賜った全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会 会長 濱田康喜様



ご祝辞を賜った文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課係長 中川尚之様



挨拶に立つ鈴木武夫理事長



乾杯の発声をされる社団法人日本音楽著作権協会 常任理事 近藤正美様

承認されました。

総会後には集まった代議員に加え、日頃当連盟がお世話になっている関係各所から来賓を迎えて懇親会が催されました。鈴木理事長は「業界を取り巻く環境は厳しいが、今後もさらなる組織の拡充、文化事業の推進、広報活動、著作権啓蒙に努めていきたい」と挨拶。

来賓を代表して文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課係長 中川尚之様、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会会長 濱田康喜様からご祝辞を頂戴しました。

社団法人日本音楽著作権協会常任理事 近藤正美様の声高らかな乾杯の発声で宴はスタート。その後は和やかなムードで懇親会は進み、参集した面々による談笑があちらこちらのテーブルから響き、最後まで盛り上がりました。

全国11エリアで
 平成20年度通常総会を開催

5月21日の本部通常総会の決議を受け、全国11エリアでエリア通常総会を開催しました。各会場では平成19年度活動報告、同収支決算報告並びに監査報告、平成20年度事業計画案について、説明と審議が行われました。

平成19年度 事業報告

【概要】

昨年に引き続き組織の強化と拡充を第一目標に活動して参りました。主な内容としては、新規会員の加入促進活動や全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会との連携を図った組織の拡充、加えて広報活動、事業推進、著作権啓蒙活動など、概ね以下の活動や事業を行いました。

組織の拡充

平成19年度は「全国カラオケ事業者協会」の協力を得て加入申込の促進の継続を図った結果、新規入会件数を799店得ました。しかし、廃業に伴う退会件数も914店にのぼり、平成19年度末時点での有効会員数は5752店にとどまりました。

また、カラオケ使用者連盟2008年版カレンダーを作成し全会員へ配布しました。これは、会員の連帯感強化と、登録情報の変更や問い合わせ、退会連絡などの際に用意したフリーダイヤル(0120-56-4056)の周知を目的としています。

他方、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会本部との連携をはかり、連合会未組織県である滋賀県の設立準備に向けた発起人の人選など、基盤作りに協力しました。

事業推進

11月2日(金)～11月6日(火)、岡山県で開催された「第19回全国生涯学習フェスティバル/まなびピア岡山2007」に参加。カラオケ体験コーナーを設置し、大勢の方々に生涯学習としてのカラオケ施設利用を提案しました。また、「まなびピア」の参加事業として、11月3日(土)、岡山市立市民分化ホールにて予選大会通過者65名による決勝大会『まなびピア岡山カラオケ大会』を開催。既にカラオケを生涯学習として楽しんでいる方に発表の場を提供し、その視野を広げることを目的に実施しました。加えて、全国カラオケ事業者協会が主催する市場活性化キャンペーン「歌ってフェスタ2007」に協賛。会員店舗へキャンペーンツールの提供を受け、9月15日から10月31日までの間、「店へお客様が来店する動機付け」「カラオケを歌ってもらう動機付け」に役立てました。

広報活動

会員の意思疎通を図ることを目的に機関紙を作成し、第17号を9月1日、第18号を12月1日に全会員へ配布しました。また、生涯学習としてのカラオケ施設利用の促進を提唱した、生涯学習フェスティバル等の機会を通じ、パンフレット配布やパネル展示を行いました。

著作権啓蒙活動

11月2日(金)～11月6日(火)、岡山県で開催された「第19回全国生涯学習フェスティバル/まなびピア岡山2007」に参加。カラオケ体験コーナーを設置し、大勢の方々に生涯学習としてのカラオケ施設利用を提案しました。

●平成19年度 決算書		
(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		
【収入の部】 (単位:円)		
科 目	決 算 額	備 考
1. 会費収入	19,226,480	
1) 入会金	395,000	H19年度入会数 799店舗
2) 正会員費	18,831,480	有効店舗 5,752店舗
2. その他収入	4,789,080	事業収入、預金利息ほか
3. 当年度収入合計	24,015,560	
【支出の部】 (単位:円)		
科 目	決 算 額	備 考
1. 事業費	14,702,377	
1) 会議費	472,993	総会・理事会
2) 旅費・交通費	866,080	宿泊・交通費
3) 広報費	430,500	機関紙発行
4) 事業推進費	1,794,744	生涯学習フェスティバル
5) 組織強化費	1,071,840	会員ツール
6) 適法利用促進費	840,000	啓蒙チラシ
7) 市場活性化対策費	5,000,000	歌ってフェスタ協賛
8) 賛助会費	4,226,220	賛助会費支払額
2. 一般管理費	10,726,115	
1) 職員給与手当	6,500,000	職員給与
2) 事務用品費	348,552	一般事務用品
3) 消耗品費	98,175	一般消耗品
4) 通信費	1,959,117	電話・郵送
5) 印刷費	175,875	封筒・入会申込書
6) 渉外費	124,000	慶弔費
7) 運送費	530,968	送料
8) 諸支出金	989,428	信販手数料・振込手数料
3. 当年度支出合計	25,428,492	
4. 当年度収支差額	-1,412,932	
5. 前年度繰越額	6,013,741	
6. 次年度繰越額	4,600,809	

平成20年度 事業計画

1.事業指針

- 昨年度に引き続き、組織の強化と拡充を目標に掲げ、カラオケ設置店の全国組織としての強固な組織基盤を構築する。
- 「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用の促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進」をテーマに事業を展開する一方、会員の利益向上に役立つ活動を研究実践する。
- 「カラオケ使用者を取り巻く諸問題の解決」について継続検討を行い、団体としてその解消に努める。

2.事業計画

- 各エリア理事並びに都道府県会長が中心となり、会員拡大を行うと共に全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会の組織拡大に協力する。
- 「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用の促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進」をテーマに、「第20回全国生涯学習フェスティバル/まなびピアふくしま2008」に参画する。
- 関連団体と情報交換を行い、趣旨を同じくする事業に協賛する。
- 音楽著作権法の啓蒙普及活動を行うと共に、会内外のJASRAC著作物使用料の不払い店解消に努める。また、会員へ円滑な使用料納付を促し、滞納防止を図る。
- 会員相互の意思疎通を図るため、年2回機関紙を発行する。
- 全国組織の利点を活かした組織運営の在り方を研究し、各エリア理事並びに都道府県会長および役員と、本部事務所の組織運営上の連携を更に密なものとする。
- 会員店舗の利用促進策として「歌ってフェスタ2008」に協賛する。
- 文部科学省が提唱する『「子どもの居場所づくり」全国キャンペーン』の趣旨に賛同し、当連盟として実現可能な活動を研究、実践する。
- 会員の連帯意識向上に役立つ企画を研究し実行する。

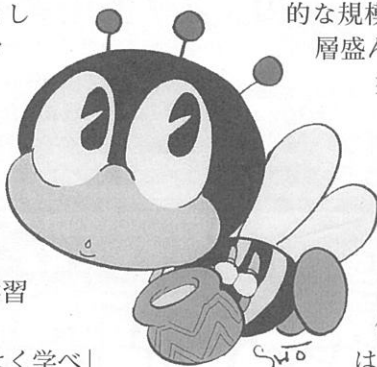
●平成20年度 収支予算		
(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)		
【収入の部】 (単位:円)		
科 目	金 額	備 考
会費収入	19,500,000	
入会金	500,000	500円×1,000店
正会員費	19,000,000	昨年度実績(18,935,950円)
会費外収入	4,600,000	協賛事業収入及び協力金(400万円)
当年度収入合計	24,100,000	
前年度繰越額	4,600,809	
合 計	28,700,809	
【支出の部】 (単位:円)		
科 目	金 額	備 考
事業費	16,500,000	
1) 会議費	1,000,000	総会、理事会他
2) 旅費・交通費	1,000,000	宿泊費、交通費
3) 広報費	500,000	機関紙発行
4) 事業推進費	2,000,000	生涯学習フェスティバル
5) 組織強化費	1,000,000	カレンダー
6) 適法利用促進費	1,500,000	啓蒙チラシ、団体協力
7) 市場活性化対策費	5,000,000	歌ってフェスタ協賛
8) 賛助会費	4,500,000	全社連
一般管理費	11,100,000	
1) 職員給与手当	6,500,000	本部事務員1名、アルバイト
2) 事務用品費	500,000	
3) 消耗品費	100,000	
4) 通信費	2,000,000	電話料金、郵送費
5) 印刷費	300,000	封筒、入会申込書
6) 渉外費	200,000	慶弔費
7) 運送費	500,000	
8) 諸支出金	1,000,000	信販手数料、振込手数料
当年度支出合計	27,600,000	
予備費	1,100,809	
合 計	28,700,809	

生涯学習について

生涯学習って何だろう？

「だれもがいつでも、どこでも、学びたいことを、学びたい方法で学ぶ」というのが生涯学習の理念です。ただ、学習というからには何かを学ばねばなりません。ここでいう「学ぶ」は活動によって意識変容が人の内側で行われることをさします。どうしても、「学ぶ」ということはデスクワークとイメージしてしまいが、学校で先生に教わって授業を受けることだけが学習ではないのです。学校教育に限らず、自分のキャリアを切り開いたり、趣味や娯楽、ライフワークとして、何か新しいものを学び続けることも生涯学習です。

昔から言われている「よく遊び、よく学べ」という言葉はまさに、生涯学習の本質を表現しているといえるでしょう。



全国生涯学習フェスティバル

生涯学習の成果を発表する場として、当連盟も参加している「全国生涯学習フェスティバル」が年に一度開催県を持ち回りで開催されています。「全国生涯学習フェスティバル」は生涯学習に係る活動を実践する場を全国的な規模で提供することにより、生涯学習活動を一層盛んにすることを目的に開催している参加体験型のイベントです。

毎年開催県の主要都市に置かれるメイン会場では生涯学習見本市が開催され、最新技術を用いた生涯学習のための取り組みや、特設ステージでの発表会など各参加団体の趣向を凝らした展示、イベントが行われています。また会場外でも参加事業として、伝統芸能、伝統工芸の体験会など地元ならではの催しが繰り広げられます。

第20回目の本年は10月11日から15日までを期間に福島県（メイン会場/ビックパレットふくしま）で開催されます。

店舗情報が変わったら…？

登録情報に変更があれば？

お店が移転などの理由で住所が変わった場合や口座変更や電話番号が変わったなど、店舗情報に変更が生じた場合はJASRACへ連絡するよう心掛けて下さい。客席面積に変更が生じた場合は使用料が変更になることもありますので、改装した際など客席面積が変わった時は確認のためにもJASRACに連絡をいれましょう。

閉店する時は？

お店を閉店する時には必ず、JASRACへ解約処理の手続きをして下さい。解約処理をしなければ契約が継続となり、使用料が発生することになります。

どこに連絡すればいいの？

JASRAC各支部とも業務時間は、月曜から金曜までの（土・日・祝休）午前9時30分～午後5時30分までです。連絡先は右の一覧を参照ください。

尚、使用料団体割引情報との整合性からも、併せて当連盟 ☎ 0120-56-4056（携帯電話からは03-3495-5695）へもご連絡下さい。

JASRAC支部一覧

支 部	管轄エリア	連絡先
北海道支部	（北海道）	（011） 221-5088
盛岡支部	（岩手、青森、秋田）	（019） 652-3201
仙台支部	（宮城、山形、福島）	（022） 264-2266
大宮支部	（埼玉、栃木、群馬、長野、新潟）	（048） 643-5461
上野支部	（台東、文京、荒川、葛飾、足立、北区、茨城）	（03） 3832-1033
東京支部	（中央、千代田、港、墨田、江東、品川、大田、江戸川区、島しょ部、千葉）	（03） 3562-4455
西東京支部	（新宿、目黒、世田谷、渋谷、中野、杉並、豊島、板橋、練馬区）	（03） 5321-9530
立川支部	（東京都市部、群部（島しょ部を除く）、山梨）	（042） 529-1500
横浜支部	（神奈川）	（045） 662-6551
静岡支部	（静岡）	（054） 254-2621
中部支部	（愛知、岐阜、三重）	（052） 583-7690
北陸支部	（石川、富山、福井）	（076） 221-3602
京都支部	（京都、滋賀、奈良）	（076） 261-0134
大阪支部	（大阪、和歌山）	（06） 6244-0351
神戸支部	（兵庫）	（078） 322-0561
中国支部	（広島、岡山、山口、鳥取、島根）	（082） 249-6362
四国支部	（香川、徳島、高知、愛媛）	（087） 821-9191
九州支部	（福岡、大分、佐賀、長崎、熊本）	（092） 441-2285
鹿児島支部	（鹿児島、宮崎）	（099） 224-6211
那覇支部	（沖縄）	（098） 863-1228

※上野支部は10月より東京支部に統合されます。

音楽著作物使用料の未払い・滞納は絶対にやめましょう

カラオケを利用する店舗が支払っている音楽著作物使用料は、JASRACによって楽曲の権利者（作詞・作曲者）へ分配され、新しい作品づくりの糧となっています。当連盟ではカラオケを利用する全ての店舗に、音楽著作物使用料の未払いや滞納防止を呼びかけています。会員各位におかれましても、自店はもとより、同業他店に対しても使用料の支払いや滞納解消を呼びかけましょう。

フリーダイヤルをご利用下さい。

経営者変更・お店の移転・閉店などのお知らせは通話料無料のフリーダイヤルをご利用下さい。なお、携帯電話・PHSからは03-3495-5695までご連絡をお願いします。

経営者変更・移転・閉店など、各種ご連絡は

0120-56-4056

携帯電話・PHSからは 03-3495-5695

〇〇『まなびピアふくしま2008』にカラオケ使用者連盟が参加します。〇〇

第20回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアふくしま2008」へ参加します。

この催しは文部科学省と開催地である福島県が共催して行うもので、ビックパレットふくしま（郡山市安積町日出山字北千保19-8）で開催されます。当連盟としては催しに参加し、本年も「生涯学習

の場としてのカラオケ施設利用促進」をアピールして参ります。

また、カラオケを生涯学習としてお楽しみいただいている皆様、日ごろの成果を試す機会「まなびピアふくしま2008カラオケ大会」を10月11日、午後1時より福島市公会堂（福島県福島市松木町1-7）にて実施いたします。



キャンペーン実施期間：平成20年9月1日～10月31日

市場活性化キャンペーン「歌ってフェスタ2008」が、9月1日より開催されます。

本キャンペーンは「カラオケを歌ってもらう動機付け」「お店へお客様が来店する動機付け」といったお店の活性化策を目的として企画されたもので、昨年開催された「歌ってフェスタ2007」には、10万通を超える応募がありました。

当連盟はこのキャンペーンが加盟店の利益に繋がる催しと考え、今年も賛同し協賛して参ります。加盟各店に実施費用は一切掛かりませんので、集客率アップの手段としては是非とも有効活用して下さい。

A賞 希望歌手との対談＝1組（1～3名）

B賞 夢の旅行券10万円分＝30名

C賞 金券1万円分＝300名

D賞 協賛メーカー提供商品＝4000名

オリジナル賞（任意）

お客様獲得キャンペーンとして、以下の「自店賞」を加えてみてはいかがでしょうか？

（例）ボトル無料キープ・・・10名様 ワンドリンクサービス・・・30名様など

※お店のご負担にならない程度で、応募箱正面下段と裏面の告知スペースに、オリジナル賞として「自店賞」や「告知」などをご記入下さい。

【応募方法】

専用応募用紙に必要事項【氏名・連絡先・歌った曲名、A賞希望の場合は歌手名】を記入の上ご応募ください。（専用応募用紙がない場合は携帯電話からの応募、もしくは官製はがきに「店舗名」「店舗電話番号」、そして必要事項を記入の上〒119-0227 大崎郵便局留 歌ってフェスタ係までお送り下さい。※携帯電話からの応募方法）QRコードもしくは<http://www.karanavi.net>へアクセス。応募フォームに「アクセスNO.」、「店舗電話番号」、必要事項の順に入力。

【キャンペーン実施期間】

平成20年9月1日～10月31日

【抽選発表】

12月上旬に厳正な抽選の上、A～C賞については全国カラオケ事業者協会ホームページ（<http://www.japan-karaoke.com>）及び月刊カラオケファン3月号（1月発売）誌上で当選者を発表いたします。

【参加団体・企業】カラオケ使用者連盟

全国カラオケ事業者協会、(株)エクシング、(株)第一興商、(株)BMB

歌ってフェスタ2008Q&A

Q・応募用紙がなくなったら？

A・未記入のものをコピーしてお使い下さい。

Q・記入済みの応募用紙はどこへ送ればいいの？

A・キャンペーン中に記入してもらった専用応募用紙（コピー含む）は、キャンペーン終了後11月10日までに当連盟宛へまとめて送付するか、当連盟への入会を仲介していただいたカラオケ業者様へまとめてお渡し下さい。

Q・店内外で告知するポスターが欲しい。

A・応募箱が告知ポスターを兼ねています。ただ、扉や壁面に貼付するポスターが必要な場合はインターネットサイト（<http://www.japan-karaoke.com/>）よりデータをダウンロードの上、プリントアウトしてご利用下さい。